

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おきなわインターナショナルデイサービス			公表日		2026年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	定期的に備品やおもちゃを整理し、不要な物は無くし、室内のスペースの確保に努めている。	静的な活動には対応可能だが、動的な活動を行なうには十分な広さが確保できていない。子どもたちの成長と共に、室内の広さが課題と感じている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	圧迫感はなく、開放的に見通しは良い。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	不要な物は撤去し清潔で過ごしやすい環境づくりに努めている。	室内の狭さ		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	個別の部屋はないが、仕切りを用いて個別の場所を提供することが出来る。こどもが1人で落ち着きたい時やゆっくり話をしたい時に使える場所があって、職員も把握しやすい場所だと思います。個別の部屋はないが、集団と離れることができるスペースはある。	用途によって使用できる簡易的な仕切りの設置があると良い。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年間行事表の作成や保護者会を実施し職員に共有している。少しづつ出来る範囲のことから取り組むよう努めている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	情報共有がなされており、一人で抱え込むことはなく、疑問点等も改善に繋げやすいと思います。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	スーパーバイザーの導入により、毎月の業務改善や日々の支援の相談を行なっている。毎月のSVの導入により外部からの視点や意見を取り入れ、業務や療育に活かしている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎月ジョブメドレーアカデミーの研修（月ごとに項目が変わる）で職員それぞれが業務時間を活用して研修を受けられる機会やSVによる研修が毎月行われている。	管理者や児発管以外の職員ももっと積極的に外部研修に参加できる機会があると望ましい。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	計画書の作成前に職員間で各児童の悩みや課題を話し合い、共通認識を図っている。	全体での支援についての考え方、共有の時間はもっとあった方が良さそう。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		一部の職員になっている。定期的に全体で計画書の見直しや振り返る時間を作っていきたい。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		用途に応じて使いやすいアセスメントシートがあるとより良い。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	英語のカリキュラム以外にも運動感覚/リズム/製作/実験などさまざまな活動を取り入れている。日替わりで全職員で考案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	運動や実験、製作など、様々な活動ができるよう工夫してるとしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別活動の後に集団活動に取り組む場合があったりと、こどもの状況に応じた支援が行なわれていると思います。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日業務日報でfeedbackを記録し、翌朝の朝礼ミーティングで話し合いを行なっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	サービス提供記録を誰がみても分かりやすく理解できるように記入している。(支援や関わり、できたことなど)	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	選択肢を複数与えたりしながら、子ども自身が自己決定をすることができるような支援が行なわれていると思います。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	お迎え予定時刻より遅れそうな場合等、学校への連絡も適切に行なっていると思います。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	学校で用意されたアプリやお便りを確認して調整している。スクリーン配信やクラスの担任から共有がある学校もある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	利用児童が小学校低学年で学校を卒業しておらず、本質間には該当しない為。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0		時期によるが少ないと感じるので積極的に増やしていきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		情報が不足しているので、情報収集を積極的に行なっていく必要があると感じている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	家族支援のプログラムの情報は少ないが、有益な情報があれば共有している。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点の踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	送迎時や計画書の説明時に行なっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	毎年保護者会を開催したり、ハロウィンイベントで利用児童のきょうだいを参加しており、交流する機会がある。 事業所のイベントに家族の方も参加し、保護者同士の関わりが見られている。	開催回数を増やせるよう計画的に検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	最近ではSNSも発信しているが、掲載には個人を特定されないよう十分に気を付けている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	利用日前日にはご利用案内のメッセージを配信している。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	ハロウィンイベント等で地域の福祉事業所や商店との交流の機会がある。	ハロウィンイベントを通して地域へ訪問する機会はあるが、今後はもっと積極的に回数を増やしていきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		全職員が共通の認識や理解をもっと深めていく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	服薬されている場合は保護者に共有してもらい、事業所でも服薬が必要な際には与薬依頼書を提出してもらっている。	個人的な改善が必要な点ではありますが、すべてを把握することはできておりません。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		アレルギー児童がいないがその際は保護者とも確認や連携を行なっていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		